

英語学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	開講曜日・講時	平成30年度以前入学 者 読替先授業科目
英語学概論	英語統語論入門Ⅰ	2	島 越郎	3	前期 金曜日 1講時	
英語学概論	英語統語論入門Ⅱ	2	島 越郎	4	後期 金曜日 1講時	
英語学基礎講読	英語学入門Ⅰ	2	中村 太一	3	前期 火曜日 4講時	
英語学基礎講読	英語学入門Ⅱ	2	中村 太一	4	後期 火曜日 4講時	
英語解析学各論	英語学の諸問題研究 Ⅰ	2	島 越郎・中村 太一	7	前期 水曜日 2講時	
英語学講読	形態論入門Ⅰ	2	島 越郎	5	前期 火曜日 2講時	
英語学講読	形態論入門Ⅱ	2	島 越郎	6	後期 火曜日 2講時	
英語学演習	生成文法による英語分 析Ⅰ	2	中村 太一	5	前期 水曜日 4講時	
英語学演習	生成文法による英語分 析Ⅱ	2	中村 太一	6	後期 水曜日 4講時	
英語学演習	英語学の諸問題研究Ⅱ	2	島 越郎	8	後期 水曜日 2講時	

科目名：英語学概論／ English Linguistics (General Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 1 講時

semester：3 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB35101, 科目ナンバリング：LHM-LIN201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語統語論入門 I
2. Course Title (授業題目)：Introduction to English Syntax I
3. 授業の目的と概要：英語の音声と文法に関する基本的現象が現代言語学の観点からどのように分析されるのを解説し、英語学における基本概念や論証の仕方を理解してもらおう。また、英語の歴史の変遷や他の言語との違いを解説することにより、英語という言語の普遍性と特殊性を理解してもらおう。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is an introduction to the formal analysis of syntactic structures of English within a framework of Generative Grammar. We will also see the sound system and historical change of English.
5. 学修の到達目標：1) 英語の音声の基本的特徴を理解する。
2) 英語の文法の基本的特徴を理解する。
3) 英語の歴史の変遷と他の言語との共通点・相違点を理解する。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand three aspects of English: basic concepts of syntax, the sound system and the history and development.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
第1回：導入
第2回：英語の普遍性と特殊性
第3回：現代言語学における3つの分野：音韻論 意味論 統語論
第4回：英語音声の基本的特徴
第5回：英語の綴り字と発音
第6回：英語のリズムとイントネーション
第7回：文をつくる規則：句構造規則
第8回：句構造規則と文法
第9回：構成素について
第10回：樹形図と構造関係
第11回：構造関係に基づく文法原理
第12回：文、樹形図、文法原理の関係
第13回：品詞と歴史的变化
第14回：語彙と意味の歴史的变化
第15回：まとめと期末試験
8. 成績評価方法：
副読本の内容確認テストと期末テストの合計点
9. 教科書および参考書：
毎回、講義内容に関するプリントを配布する。

参考書

服部範子著『入門英語音声学』研究社

堀田隆一著『英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史』研究社

10. 授業時間外学習：講義内容の十分な復習に心がけること。

副読本の内容を計画的に自己学習すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：英語学概論／ English Linguistics (General Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 1 講時

Semester：4 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB45101, 科目ナンバリング：LHM-LIN201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語統語論入門 II

2. Course Title (授業題目)：Introduction to English Syntax II

3. 授業の目的と概要：英語の音声と文法に関する基本的現象が現代言語学の観点からどのように分析されるのを解説し、英語学における基本概念や論証の仕方を理解してもらう。また、英語の歴史の変遷や他の言語との違いを解説することにより、英語という言語の普遍性と特殊性を理解してもらう。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is a continuation of Introduction of English Syntax I, focusing on the formal analysis of syntactic structures of English within a framework of Generative Grammar. We will also see the sound system and historical change of English.

5. 学修の到達目標：1) 英語の音声の基本的特徴を理解する。

2) 英語の文法の基本的特徴を理解する。

3) 英語の歴史の変遷と他の言語との共通点・相違点を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand three aspects of English: basic concepts of syntax, the sound system and the history and development.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：導入

第2回：単語の音声・意味情報を記載するレキシコン

第3回：音韻・意味素性、主要部、句について

第4回：動詞と目的語の語順：音韻的要因と歴史的变化

第5回：動詞と修飾語の語順：音韻的要因と歴史的变化

第6回：複文の構造（1）：補文標識の役割

第7回：複文の構造（2）：定形節と非定形節の違い

第8回：複文構造の歴史的变化

第9回：発音されない代名詞と歴史的变化

第10回：名詞句の構造と歴史的变化

第11回：句構造規則から X 理論へ

第12回：Wh 疑問文における移動操作

第13回：Wh 疑問文の音韻的特徴と歴史的变化

第14回：英語とその他の言語に見られる Wh 疑問文の共通点・相違点

第15回：まとめと期末試験

8. 成績評価方法：

副読本の内容確認テストと期末テストの合計点

9. 教科書および参考書：

毎回、講義内容に関するプリントを配布する。

参考書

服部範子著『入門英語音声学』研究社

堀田隆一著『英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史』研究社

10. 授業時間外学習：講義内容の十分な復習に心がけること。

副読本の内容を計画的に自己学習すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：英語学基礎講読／ English Linguistics (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

semester：3 単位数：2

担当教員：中村 太一

コード：LB32401, 科目ナンバリング：LHM-LIN206J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語学入門 I

2. Course Title (授業題目)：Introduction to English Linguistics I

3. 授業の目的と概要：英語学関連の英語文献の講読を通して、英語の正確な読解法を学ぶとともに、英語学の基本的な概念の理解を目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability to read English texts with accuracy and understand the basic concepts of English linguistics, through intensive reading of English texts on English linguistics.

5. 学修の到達目標：①英語学の思考法や研究方法論を理解する

②正確に英文を読む力を身につける

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand fundamental perspectives and basic notions of English linguistics and develop the ability to read research papers from critical viewpoints.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この授業は担当学生による講読発表とディスカッションから構成される。内容とスケジュールは次の通りである。

第 1 回：ガイダンス

第 2 回：導入

第 3 回：従属接続(1)：付加部と補部

第 4 回：従属接続(2)：定形従属節(1)：主語節、補部節、付加詞節

第 5 回：従属接続(3)：定形従属節(2)：関係節

第 6 回：従属接続(4)：非定形従属節(1)：動詞の補部として機能する非定形の従属節①

第 7 回：従属接続(5)：非定形従属節(2)：動詞の補部として機能する非定形の従属節②

第 8 回：従属接続(5)：非定形従属節(3)：非定形従属節の時の解釈

第 9 回：従属接続(6)：非定形従属節(4)：非定形従属節の主語

第 10 回：等位接続(1)：句と節の等位接続

第 11 回：等位接続(2)：非基本的な等位接続

第 12 回：等位接続か従属接続か(1)：“try and V”構文

第 13 回：等位接続か従属接続か(2)：“go and V”構文

第 14 回：等位接続か従属接続か(3)：条件を表す“and”

第 15 回：まとめとディスカッション

8. 成績評価方法：

授業における発表とディスカッションへの参加 [40%] と期末レポート [60%]

9. 教科書および参考書：

テキスト：Egan, Thomas (2020) “Subordination and Coordination,” in The Oxford Handbook of English Grammar, ed. by Bas Aarts, Jill Bowie and Gergana Popova, pp. 439-460, Oxford University Press. プリント使用。

10. 授業時間外学習：事前に該当箇所を予習し、問題点や不明な点を整理する (2 時間)。授業後は、内容を確認し不明な点を解消するとともに、授業の中で指示する参考書等を活用して問題点について理解を深める (2 時間)。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：英語学基礎講読／ English Linguistics (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：中村 太一

コード：LB42401, 科目ナンバリング：LHM-LIN206J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語学入門Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：Introduction to English Linguistics II

3. 授業の目的と概要：英語学関連の英語文献の講読を通して、英語の正確な読解法を学ぶとともに、英語学の基本的な概念の理解を目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability to read English texts with accuracy and understand the basic concepts of English linguistics, through intensive reading of English texts on English linguistics.

5. 学修の到達目標：①英語学の思考法や研究方法論を理解する

②正確に英文を読む力を身につける

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand fundamental perspectives and basic notions of English linguistics and develop the ability to read research papers from critical viewpoints.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この授業は担当学生による講読発表とディスカッションから構成される。内容とスケジュールは次の通りである。

第1回：ガイダンス

第2回：導入

第3回：旧情報と新情報(1)：前提と断定

第4回：旧情報と新情報(2)：指示対象の情報の活性化度

第5回：話題

第6回：焦点

第7回：情報構造と統語形式(1)：文末焦点の原則

第8回：情報構造と統語形式(2)：文末重点の原則

第9回：情報構造と統語形式(3)：前提調節

第10回：情報構造構文(1)：前置（左方転位構文・話題化構文）

第11回：情報構造構文(2)：後置(1)：存在の there 文・与格移動構文

第12回：情報構造構文(3)：後置(2)：右方転位構文・it 外置構文

第13回：情報構造構文(4)：倒置（受動文・倒置構文）

第14回：情報構造構文(5)：分裂文と擬似分裂文

第15回：まとめとディスカッション

8. 成績評価方法：

授業における発表とディスカッションへの参加 [40%] と期末レポート [60%]

9. 教科書および参考書：

テキスト：Kaltenböck, Gunther (2020) "Information Structure," in The Oxford Handbook of English Grammar, ed. by Bas Aarts, Jill Bowie and Gergana Popova, pp. 461-482, Oxford University Press. プリント使用。

10. 授業時間外学習：事前に該当箇所を予習し、問題点や不明な点を整理する（2時間）。授業後は、内容を確認し不明な点を解消するとともに、授業の中で指示する参考書等を活用して問題点について理解を深める（2時間）。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：英語解析学各論／ Analytical Study of English (Special Lecture)

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：7 単位数：2

担当教員：島 越郎, 中村 太一

コード：LB53202, 科目ナンバリング：LHM-LIN316J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語学の諸問題研究 I

2. Course Title (授業題目)：Topics in English Linguistics I

3. 授業の目的と概要：英語学研究の最新の動向を把握し、卒業論文作成の進展に役立てることを目的とする。授業は次の3部から構成される。

1) 最新の研究論文を担当者がオーラル・レポートする。

2) 討論者がコメントを加える。

3) 授業の参加者全員でディスカッションを行う。

授業に参加する者は、前もって論文に目を通し、積極的にディスカッションに参加することが望まれる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to discuss current issues in linguistic theory.

Students will participate fully in the classroom discussion about a reported paper.

5. 学修の到達目標：①英語学研究の最新動向を把握する

②研究論文の実践的作成法が身に付く

③効果的プレゼンテーション力が身に付く

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of the course is to develop the background needed for independent research and acquire skills for presentation.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1) Introduction

2) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

3) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

4) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

5) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

6) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

7) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

8) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

9) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

10) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

11) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

12) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

13) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

14) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

15) Summary

8. 成績評価方法：

期末レポート

9. 教科書および参考書：

取り上げる論文は英語学研究室ホームページで前もって通知する。参考文献・参考書は随時紹介する。

10. 授業時間外学習：取り上げる論文は英語学研究室ホームページで前もって通知するので、読んだ上で参加すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：英語学講読／ English Linguistics (Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

Semester：5 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB52207, 科目ナンバリング：LHM-LIN324J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：形態論入門 I

2. Course Title (授業題目)：Introduction to Morphology I

3. 授業の目的と概要：英語やその他の言語に見られる単語の基本的な形態現象を形態論の観点からどのように分析されるのかを解説する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course investigates the nature and structure of words within the framework of Generative Grammar.

Topics include the place of word formation in relation to syntactic phenomena, morphological processes, and the nature of the lexicon.

5. 学修の到達目標：1) 単語の基本的な形態現象を理解する。

2) 形態論の基本概念を理解する。

3) 形態論の基本的分析法を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand the basic concept of morphology and acquire basic analytical skills.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) Introduction
- 2) Overview of Compound Types (1)
- 3) Overview of Compound Types (2)
- 4) Overview of Compound Types (3)
- 5) Root Compounds (1)
- 6) Root Compounds (2)
- 7) Root Compounds (3)
- 8) English Synthetic Compounds (1)
- 9) English Synthetic Compounds (2)
- 10) English Synthetic Compounds (3)
- 11) English Synthetic Compounds (4)
- 12) English Synthetic Compounds (5)
- 13) English Synthetic Compounds (6)
- 14) English Synthetic Compounds (7)
- 15) Summary

8. 成績評価方法：

学期末レポートに基づく。

9. 教科書および参考書：

初回に、講義内容に関するプリントを配布する。

10. 授業時間外学習：毎回の授業の復習をしっかりとやること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：英語学講読／ English Linguistics (Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 2 講時

semester：6 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB62206, 科目ナンバリング：LHM-LIN324J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：形態論入門 II

2. Course Title (授業題目)：Introduction to Morphology II

3. 授業の目的と概要：英語やその他の言語に見られる単語の基本的な形態現象を形態論の観点からどのように分析されるのかを解説する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is a continuation of Introduction to Morphology I, focusing on the nature and structure of words within the framework of Generative Grammar.

Topics include the place of word formation in relation to syntactic phenomena, morphological processes, and the nature of the lexicon.

5. 学修の到達目標：1) 単語の基本的な形態現象を理解する。

2) 形態論の基本概念を理解する。

3) 形態論の基本的分析法を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand the basic concept of morphology and acquire basic analytical skills.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

1) Introduction

2) Bracketing Paradoxes in Lexical Phonology (1)

3) Bracketing Paradoxes in Lexical Phonology (2)

4) A Prosodic Approach (1)

5) A Prosodic Approach (2)

6) William's Theory of 'Lexical Relatedness' (1)

7) William's Theory of 'Lexical Relatedness' (2)

8) Pesetsky's 'Morphological QR' (1)

9) Pesetsky's 'Morphological QR' (2)

10) Sproat Mapping Principle (1)

11) Sproat Mapping Principle (2)

12) Bracketing Paradoxes and Paradigmatic Word Formation (1)

13) Bracketing Paradoxes and Paradigmatic Word Formation (2)

14) Bracketing Paradoxes and Paradigmatic Word Formation (3)

15) Summary

8. 成績評価方法：

学期末レポートに基づく。

9. 教科書および参考書：

初回に、講義内容に関するプリントを配布する。

10. 授業時間外学習：毎回の授業の復習をしっかりとやること。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：英語学演習／ English Linguistics (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：中村 太一

コード：LB53403, 科目ナンバリング：LHM-LIN325J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：生成文法による英語分析 I

2. Course Title (授業題目)：English Syntax: A Generative Perspective I

3. 授業の目的と概要：生成文法の最新の枠組みである極小主義プログラムによる英語分析のテキストを用い、英語の種々の構文がどのような概念により分析されるのかを学ぶ。授業は担当者によるオーラル・レポートと、ディスカッションによってすすめる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course provides an intensive introduction to how various English constructions are analyzed in terms of key notions of the framework of the Minimalist Program. This course mainly consists of oral report by students and discussion by all of the participants.

5. 学修の到達目標：①生成文法理論による英語分析の概要を把握する。

②比較的多量の英文を正確に読みこなせるようになる。

③プレゼンテーションの実践的手順を把握する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand how to analyze English sentences by the methodology of current generative grammar, develop English language skills necessary to precisely understand a fairly large amount of English text, and develop presentational skills.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業は、担当者による口頭発表と参加者によるディスカッションから構成される。授業内容とスケジュールは以下の通りである。

1 ガイダンス

2 Grammar (1): Traditional Grammar (Oral report and discussion)

3 Grammar (2): Universal and Language Acquisition (Oral report and discussion)

4 Grammar (3): Parameters and Parameter Setting (Oral report and discussion)

5 Words (1): Lexical Categories and Functional Categories (Oral report and discussion)

6 Words (2): Determiners, Quantifiers, and Auxiliaries (Oral report and discussion)

7 Words (3): Categorization Problems and Grammatical Features (Oral report and discussion)

8 Structure (1): Phrases, Clauses, and Specifiers (Oral report and discussion)

9 Structure (2): Projections and Testing Structures (Oral report and discussion)

10 Structure (3): Structural Relations and Word Order (Oral Report and discussion)

11 Null Constituents (1): Null T in Indicative Clauses (Oral report and discussion)

12 Null Constituents (2): Null T and Null C in Finite Clauses (Oral report and discussion)

13 Null Constituents (3): Null C in Infinitive Clauses and Defective Clauses (Oral report and discussion)

14 Null Constituents (4): Null Heads in Nominals (Oral report and discussion)

15 まとめとディスカッション

8. 成績評価方法：

授業における発表および討論参加 (40%)

期末レポート (60%)

9. 教科書および参考書：

テキスト：Andrew Radford (2016) Analysing English Sentences, 2nd edition, Cambridge UP.

参考書：原口庄輔・中村捷・金子義明 (編) 『増補版 チョムスキー理論辞典』研究社

Andre Radford 著、金子義明・島越郎 (監訳) 『英語構文を分析する (上)』開拓社

10. 授業時間外学習：授業に臨む前に、該当箇所を予習し口頭発表後のディスカッションに積極的に参加できるように準備しておくこと (2 時間)。授業後は参考書等を活用し、授業内容を確認し疑問点を解消しておくこと (2 時間)。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

前年度までに英語学概論を履修済みであることが望ましい。

科目名：英語学演習／ English Linguistics (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：中村 太一

コード：LB63401, 科目ナンバリング：LHM-LIN325J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：生成文法による英語分析Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：English Syntax: A Generative Perspective Ⅱ

3. 授業の目的と概要：生成文法の最新の枠組みである極小主義プログラムによる英語分析のテキストを用い、英語の種々の構文がどのような概念により分析されるのかを学ぶ。授業は担当者によるオーラル・レポートと、ディスカッションによってすすめる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course provides an intensive introduction to how various English constructions are analyzed in terms of key notions of the framework of the Minimalist Program. This course mainly consists of oral report by students and discussion by all of the participants.

5. 学修の到達目標：①生成文法理論による英語分析の概要を把握する。

②比較的多量の英文を正確に読みこなせるようになる。

③プレゼンテーションの実践的手順を把握する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand how to analyze English sentences by the methodology of current generative grammar, develop English language skills necessary to precisely understand a fairly large amount of English text, and develop presentational skills.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業は、担当者による口頭発表と参加者によるディスカッションで構成される。授業内容とスケジュールは以下の通りである。

1 ガイダンス

2 Head Movement (1)：Auxiliary Inversion and CP Recursion (Oral report and discussion)

3 Head Movement (2)：Null Operators and V-to-T Movement (Oral report and discussion)

4 Head Movement (3)：Auxiliary Raising and Negation (Oral report and discussion)

5 Head Movement (4)：Do-support(Oral Report and discussion)

6 Wh-Movement (1)：Wh-Movement and Driving Wh-Movement (Oral report and discussion)

7 Wh-Movement (2)：Subject Questions and Pied-Piping (Oral report and discussion)

8 Wh-Movement (3)：Wh-Movement as Copying (Oral report and discussion)

9 Wh-Movement (4)：Constraint on movement (Oral report and discussion)

10 A-bar Movement (1)：Wh-exclamatives and Relative clauses (Oral report and discussion)

11 A-bar Movement (2)：Two movement accounts of restrictive relative clauses (Oral report and discussion)

12 A-bar Movement (3)：Refining the Antecedent Raising analysis (Oral report and discussion)

13 A-bar Movement (4)：Two sources for restrictive relative clauses (Oral report and discussion)

14 A-bar Movement (5)：Other A-bar Movement constructions (Oral report and discussion)

15 まとめとディスカッション

8. 成績評価方法：

授業における発表および討論参加 (40%)

期末レポート (60%)

9. 教科書および参考書：

テキスト：Andrew Radford (2016) Analysing English Sentences, 2nd edition, Cambridge UP.

参考書：原口庄輔・中村捷・金子義明 (編)『増補版 チョムスキー理論辞典』研究社

Andrew Radford 著、金子義明・島越郎 (監訳)『英語構文を分析する (下)』開拓社

10. 授業時間外学習：授業に臨む前に、該当箇所を予習し口頭発表後のディスカッションに積極的に参加できるように準備しておくこと (2 時間)。授業後は参考書等を活用し、授業内容を確認し疑問点を解消しておくこと (2 時間)。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

前年度までに英語学概論を履修済みであることが望ましい。

科目名：英語学演習／ English Linguistics (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 2講時

セメスター：8 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB63201, 科目ナンバリング：LHM-LIN325J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語学の諸問題研究 II

2. Course Title (授業題目)：Topics in English Linguistics II

3. 授業の目的と概要：英語学研究の最新の動向を把握し、卒業論文作成の進展に役立てることを目的とする。授業は次の3部から構成される。

1) 最新の研究論文を担当者がオーラル・レポートする。

2) 討論者がコメントを加える。

3) 授業の参加者全員でディスカッションを行う。

授業に参加する者は、前もって論文に目を通し、積極的にディスカッションに参加することが望まれる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to discuss current issues in linguistic theory.

Students will participate fully in the classroom discussion about a reported paper.

5. 学修の到達目標：①英語学研究の最新動向を把握する

②研究論文の実践的作成法が身に付く

③効果的プレゼンテーション力が身に付く

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of the course is to develop the background needed for independent research and acquire skills for presentation.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1) Introduction

2) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

3) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

4) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

5) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

6) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

7) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

8) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

9) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

10) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

11) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

12) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

13) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

14) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

15) Summary

8. 成績評価方法：

期末レポート

9. 教科書および参考書：

取り上げる論文は英語学研究室ホームページで前もって通知する。参考文献・参考書は随時紹介する。

10. 授業時間外学習：取り上げる論文は英語学研究室ホームページで前もって通知するので、読んだ上で参加すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：